

今後の取り組み及び部会の方向性について

1. ラムサール条約湿地登録日に係る部会（協議会）の対応について
渡良瀬遊水地に関心をもってもらうことを目的に7月3日がラムサール条約湿地登録日であるたことを広くPRしていく。

○PR方法の案

- ・各市町、団体にて実施予定のイベント等に登録日の冠をつけて実施

○6月から8月にかけて実施予定の各イベント一覧（資料2）

2. 前部会により決定した2テーマ（資料3）の今後の取り組みについて

外来種の動植物対策について

渡良瀬遊水地内において、外来種は多種にわたるため（資料4）、ある程度絞って対策等を検討していく必要がある。（種と生態による影響整理していく必要がある）

今後部会としての取り組み案

○啓蒙活動の推進「外来種を入れない、捨てない、拡げない」を利用者に

- ・パンフレット等による啓蒙活動

○部会としての除去・駆除活動

- ・今後どのように活動を行うか

現在実施されている各自治体の取り組み

小山市・野木町等 第2調節池

ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦

栃木市等第1調節池

絶滅危惧植物保全活動（除去活動）

○その他（人的被害の恐れのあるもの）

- ・直近で問題となっているイノシシ対策について（資料5）

イノシシによる被害が発生しており、人的被害防止対策をする必要がある

看板による注意 発見情報の発信 捕獲等

ゴミ対策の強化について

○啓蒙活動の推進「ゴミ持ち帰り」を利用者に

- ・パンフレットや看板で「ゴミを持ち帰る」をPR
- ・ゴミマップ等の情報を提供（資料6）

○クリーン作戦の実施

- ・クリーン作戦による活動の状況把握
- ・今後、新たなクリーン作戦（部会としての活動）が実施できるか検討

3. ラムサール条約湿地登録5周年に向けて検討事項の整理

○平成29年度は5周年記念にあたるため協議会として何かできないかを今年度検討していく（次回幹事会までに意見等があればお願いしたい）

幹事会案（素案）

- ・ 渡良瀬遊水地の治水の歴史（講話）
- ・ 治水の歴史の探訪と環境のフィールドワーク（現地）
- ・ ロゴマークの作成方法及び使用要綱の作成
- ・ 遊水地に係わるイベント一覧のチラシ作成、関連団体のHPリンク
- ・ 東京オリンピックに向けた海外PR

4. 渡良瀬遊水地の情報の一元化

○今後情報をわかりやすく発信する

・ 各団体の持っている情報をよりわかりやすく一般の方に発信できるシステムを構築していく必要がある